

第二回全国国公立幼稚園教育研究協議会に出席して

菊池ふじの

東京都国公立幼稚園長会がお引き受けした第二回の、全国国公立幼稚園教育研究協議会は、本年八月六、七、八の三日間、お茶の水女子大学を会場として開催せられました。

記録的な酷暑の最中であつたにもかかわらず、

北は北海道より、南は鹿児島にいたるまで、全国の国公立幼稚園の園長、主任、教諭などの参会者六八二名。どの顔にも溢れていた熱誠とその真けんな態度とは、この

会の性格を物語るに充分でありました。

さて、会は、左の日程によつて進められました。

第一日(八月六日)

開会式(九、〇〇—九、三〇)

閉式のことば

挨拶 全国国公立幼稚園長会長 小林 操

祝辞 文部大臣 松村 謙三

代理初等教育課長 上野芳太郎

東京都教育長 本島 寛

代理 教育委員 柴田 秀子

閉式のことば

研究発表(九、三〇—一〇、〇〇)

講演(一〇、〇〇—一〇、二〇)

1 新時代に生きる女性の道

前文部大臣 天野 貞祐

昼食(一〇、二〇—一〇、四〇)

分科研究協議会(一〇、四〇—一〇、六〇)

第二日(八月七日)

研究発表(八、三〇—一〇、〇〇)

分科研究協議会(一〇、〇〇—一〇、二〇)

昼食(一〇、二〇—一〇、四〇)

講演(一〇、二〇—一〇、四〇)

2 このごろ思うこと

時間担当 秋山ちえ子

閉会式(一〇、四〇—一〇、六〇)

都内観光(第一班)(四、〇〇—四、三〇)

第三日(八月八日)

皇居拝観(八、〇〇—一〇、〇〇)

昼食(一〇、二〇—一〇、四〇)

都内観光(第二班)(一〇、四〇—一〇、六〇)

〔研究発表〕第一日午前・第二日午前

1、観察の系統的指導について

東京都新宿区立 仲之町幼稚園教諭 高田 典

2、幼稚園の立場から見た小学校との連携についての諸問題

新潟県高田市立 高田幼稚園教諭 竹下 キク

3、幼児の音楽的即興性をそだてて

大阪府大阪市立 加納幼稚園教諭 渡辺 房子

4、幼稚園における弁当の質と量よりみた健康状態

大坂府大阪市立 大宝幼稚園教諭 谷沢 睦子

5、幼稚園教育と小学校教育との連関を緊密にする方法とその結果について

岡山大学教育学部 附属幼稚園教諭 從野 静江

6、創造性をつちかう幼児教育における誘引力の問題

徳島市立 内町幼稚園教諭 三木多美子

7、幼稚園の放送教育（幼稚園でラジオをどのように活用したらよいか）

奈良市立 富雄南幼稚園教諭 勝田 節
鹿児島県幼稚園史

鹿児島大学教育学部
附属幼稚園教諭 遠山 多美

〔分科会による研究協議題および指導者〕
第一日午後・第二日午前

1、科学的、創造的精神をつちかうにはどのようにしたらよいか

指導者 東京学芸大学 教授 角尾 稔
助教 西京都港区立 樋口 澄雄

2、情操の豊かな健康な幼児を育てるにはどのようにしたらよいか

指導者 お茶の水女子大学 助教授 平井 信義
司会者 麻布幼稚園 園長 桜井 勤重

3、性格教育はどのようにしたらよいか

指導者 信州大学 教授 竹内 硬
司会者 東京大学 講師

4、問題児の指導を効果的にするにはどのようにしたらよいか

指導者 東京大学 教授 三木 安正
司会者 東京都台東区立 千束幼稚園 園長 柳沢 武夫

研究発表

全国から八名の発表者がありました。前

掲の題名からもうかがえるように、発表内容は、何れもみな、幼稚園にとって大切な、そして、幼児教育者の誰もが知りたい、調べたいと思っている事柄ばかりでした。一人十五分という限られた短い時間内で、あの膨大な研究内容は、充分に発表し尽されなかつたでありましょうし、揭示された数々の資料やデーターも、参会者全部に、明瞭に見とられなかつた恨みはあつたでありましょうが、この点は、しかし、立派に編集されたその「研究集録」（編纂国立幼稚園長会印刷フレール館）をひもとけば、一目瞭然であります。この集録を手にとつて、今更のように、これらの研究発表の内容の、如何に真けんな、研究的な、努力の結晶であるかがうかがわれるのでございます。

実に研究発表は、何れも、流石に日々實際保育に携わつておられる実家の先生だけに、しっかりと、現実の幼児に根拠をもつているものばかりでした。自分たちの直面している幼児たちを、少しでもひき上げよう、豊かにしよう、健康にしよう、仕あ

わせにしよう、という熱意にもえているものばかりでありました。

その実際指導法の工夫は、この熱意の上で立つての工夫ですから、至れり尽せりの努力をせられたもので、敬服の至りでした。（研究発表 1、3、6、7など）

また、その調査についてのデーターや資料などは驚くべき緻密さを持ち、その広範囲に互つての調査研究であることにも誠に感動させられました。（研究発表 2、4、5、8など）子供を保育しながら、明日の保育の準備をしながら、今日の保育の後始末や整頓をしながら、そのかたわらに、よくぞまあこんなにもできたものだ、これまた敬服の至りでした。

研究の方法もまた、組織的系統的で、きまぐれや、粗雑さは少しもありません。発表の態度もまじめで敬虔で、誠に立派でございました。

一言にしていえば、熱烈な幼児愛の上でたつての、まじめな組織的な研究、熱心な創意工夫、たゆむことなき努力の満ち満ち

てる研究発表であつたといえると思いません。

未だしっかりした基盤の上に立っているとは言えない我が幼稚園教育の現状ではありますが、このような後進をもっているとは何としても強味で、我が幼児教育の将来に多大の期待が寄せられることだと、二日間にわたる研究発表を、感慨に耽りながら、聞いたり見たりしていたことでした。

分科研究協議会

四班に分れての研究協議会でしたが、どの班も、略々同数の二〇〇人前後の熱心な会員の集りでした。

指導の講師また何れもその途に於ての権威者で、しかも前々から、この協議会をどのようにもとうかと熱心に工夫をしておいて下さいました。ですから、協議会冒頭の説明に、或はまた、会員との一問一答に於て発せられる一言一言は、会員の要所にピンと響き、みな直ちに血となり肉となる内容ばかりでありました。実に収穫の多い協

議会で、「来た甲斐があつた」といったような表情が、誰でも顔に溢れておりました。

講演

1 (新時代に生きる女性の道 天野貞祐)

やっぱり哲学者だなあ、と思わせるような意見を吐かれたり、計画をされたりして、異色の存在として今なお、私たちの記憶にのこっている、前文部大臣としての天野貞祐先生、カント学者として数々の哲学書を著わされた天野貞祐先生の、御名を知らないものはないでしょうが、いまだお顔を拝見したことのない会員もかなりにあつたことでしょう。…私もその一人ですが：…
こうした必要に応えたのがその一つ。次には、御講演の隨所にカント哲学の息吹を感じられたのがその二。その三は、御講演の内容であります。いかにも哲学者らしいおじいさまぶりの御講演でした。御講演の終り、若い男女の交際にまでお話が及びましたが、先生の信念に満ちたお説によつ

て、私たち年輩者の常日頃抱いている意見はしっかりと裏付けをしていたのだいたように思いますが、果して若い世代の人々の感想や如何にです。

2 (このごろ思うこと)

N.H.K.婦人の時間担当 秋山ちえ子)

この講演は本研究会最終の幕です。「私の見たこと聞いたこと」の放送で、声のよいこと、はぎれのいい話しぶり、頭と感覚のいい急所の突っこみを見せて、いつも私たちの胸をすうっとさせてくださっている、影の声の秋山さんを、今日始めて見る会員も沢山あつたことでしょう。実際いま、壇上に、生の姿をみて、その声よし、みめよし、すがたよしに会員は先ず惹きつけられてしまい、うだるような暑さにもかかわらず、会場は水を打ったような静けさになりました。
秋山さんの口からもれる話しぶり、流石にと、誰でもが感歎の面持をして聞き入ったことでした。

おはなしの内容は、場末の細民街の保育所のことを放送したときの社会の反響のこと、幼稚園の先生の待遇のこと、など、やっぱり秋山さんは私たちと同じ畑の幼児教育者であると感を強うしたことでした。それから、ビキニの灰の久保山さんの死のことに及び、久保山夫人の心境を説いて、婦人としての平和への祈りを訴えられるあたり、女流評論家としての面影が躍如としていました。

はぎれのいい、しかしやわらか味のあるお声は、会場の隅々にまで、極めてらくに通り、講演の内容とともに満堂の人の心を打ちました。

予定の一時間丁度でお話は終わりました。何もかも流石に馴れたものでした。会員の拍手はいつまでも長く止みませんでした。本研究会最後の幕を飾るのに、ふさわしい光景でした。

観光

皇居拝観と、都内観光の二ツの計画は、

参会者のみなさんから、よろこばれました。みんなそれぞれ東京でなければ得られないお土産を、手にも心にも抱かれながら、それぞれ帰途に就かれたことでした。来年のこの会は、どの地で開かれることでしょうか。期待と感激を胸に描きながらこの研究会の見聞を綴りました。

(お茶の水大附属幼稚園主任)

第二回日本私立幼稚園教育 研究全国大会に出席して

池田節夫

日本私立幼稚園連合会主催の第二回日本私立幼稚園教育研究全国大会が、昨年の大分大会からバトンを引継いだ石川県におい

て、七月二十六日は森の都金沢市北陸学院高等学部講堂で、翌二十七日は加賀絹の発祥地小松市芦城小学校新体育館で、二日間互って開催された。

昨年は、「私立学校教職員共済組合」が設立されて、私立幼稚園に勤務する教職員にも公立の教職員と同様の共済制度ができたことを記念する意味をも持って、連合会としては初めて開催したもので、この制度の成立を喜ぶと共に、一層幼児教育の研究と精進とを誓い、私立という一色の純粹さから、実に同志的な、そして感激的な大会を終了したのであるが、今年の大会は、その日から待ち望まれていたものである。

開催地である石川県私立幼稚園協会では、「如何にしてよりよき大会を」との熱意で万般の準備に着手し、全国から参集した千六百名の会員を温かく金沢駅頭に迎えて会場まで導いてくれた。

第一日の会場校北陸学院は日本最古の私立の基督教幼稚園をもつところで、大会場としては最適の場所と言えよう。開会を待